

令和 8 年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立

明 善

高等学校(全)

64

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>「高い志と世界的な視野を持ちグローバルリーダーとなる人材を育成する学校」 充実した理数教育をはじめとするハイレベルな教育活動を展開し、地域や大学、研究機関等と連携した探究活動及び体験活動、海外との交流活動などを通して、日本及び世界の発展に寄与しようとする高い志を持った人材を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<p>(1)理想を追求して未知の難題に挑む意欲や、実践的な知識・技能を活用した思考力・判断力・表現力を育成し、未来を切り拓く力を養う。 (2)自由と責任を重んじ、他者を思いやる態度や、国際社会の平和や環境保全に貢献しようとする姿勢を育む。 (3)望ましい職業観・勤労観を育み、生涯学び続ける姿勢や地域や世界に貢献する豊かな人間性を育成する。 (4)【理数科】数学・理科の見方・考え方を組み合わせるなどして働かせ、探究の過程を通して、課題を解決する力や実践的な応用力を育成する。</p>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<p>(1)基礎的・基本的な知識や技能の確実な習得と質の高い授業や評価を通して、ICTを活用した確かな学力の向上と深い学びを実現する。 (2)主体的に課題を発見し、他者と協働的に解決する思考力・判断力・表現力を育成するためのカリキュラム・マネジメントを確立させ、全ての教育活動において探究型学習の展開を図る。 (3)開かれた学校を目指し、地域との連携を図りながら、キャリア教育を充実させ、高い志と確かな価値観を持つグローバルリーダーを育成する。 (4)学校への帰属意識を高め、他者への配慮を重んじかつ自他を認め合う共感的な人間関係を築き、人権尊重の精神を育み、いじめ撲滅に資するとともに、豊かな人間性を培う。</p>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<p>(1)中学校段階での学習において十分な学力が身に付いており、学習意欲が旺盛であり、理解力に優れ、将来に対する明確な目的意識を持つ人 (2)主体的に課題を発見し、他者と協働して解決しようとする人 (3)部活動、生徒会活動等で活躍でき、リーダーシップを発揮することができる人 (4)【理数科】数学や理科に強い興味・関心を持ち、課題を自ら発見し解決に向け探究する姿勢がある人</p>

学校運営計画(4月)

<p>学校運営方針</p>	<p>「克己・盡力・楽天」の校訓に基づく生徒育成を全ての指導の基本とし、少々の困難に負けることなく、心身ともに強い、かつ健全な生徒を育成する。併せて「確かな学力」、「豊かな人間性」を醸成するための良質な授業と主体的な学び、及び学校行事等を通じて、世界的な視野を備えた「志の高い」生徒を育成する。</p>		<p>評価 (総合)</p>
<p>昨年度の成果と課題</p> <p>○ ICTの活用も含めて教科教育のさらなる充実を図ることに一定の成果が見られた。生涯にわたって学び続け、日本や世界を舞台に活躍する人材の育成に継続して取り組む。 ○ 学校行事など本校の特徴である教育活動を通して人格の形成を図ることについて、生徒の満足感を確認できた。道徳心の育成についてさらなる工夫を目指す。 ○ 体育館及び武道場の改築工事が今後も継続するにあたり、生徒が事故に合うことがないよう安全管理体制の充実を図る。 ○ 地域に対して充実した広報活動を行うことができた。次年度も継続して行い、地域から見える学校として、地域から理解され信頼される学校であるために積極的な情報発信を行う。 ○ 保護者会や同窓会との連携をさらに深め、学校内部のみで完結しない効果的な教育活動について検討する。</p>	<p>年度重点目標</p>	<p>具体的目標</p>	
	<p>知識・技能の展開を図り、深い学びに繋げるにより新しい知の体系を獲得させる上質な授業の実践</p>	<p>知識・技能を基に、より深い理解と考察に繋げることで、さらなる高次の思考へと発展するような質の高い授業を提供し、併せて生徒の知的好奇心を刺激することによって、能動的且つ自律的学びに結びつける。</p>	
	<p>探究活動とおとした未知の課題の解決に主体的に取り組む態度の育成</p>	<p>探究活動において、協働的な研究活動や課題解決における教科横断的な知識の活用をおとして、解のない課題や想定外の課題に向き合うための知的基礎体力を育成する。</p>	
	<p>学校行事や部活動等の教育活動とおした心身ともに逞しく自立した生徒の育成</p>	<p>学校行事や部活動を生徒の自立を促す機会ととらえ、少々の困難にも負けず、前向きに乗り越えていく力を育成する。また、特別な支援が必要な生徒については、専門家との連携を図る。</p>	

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教務課	生徒の「表現力の育成」に繋がる職員の授業改善を推進する。	定期考査でのデジタル採点システムの普及を進めるとともに、日常的に行う小テスト等での活用を推進し、採点業務を削減する。 定期考査において、考えや解答に至る過程等を文章や式で記述する問の出題に関して、生徒の主体的な学習につながる解説の充実を図る。 各教科で研究授業を実施し、研究協議会で意見交換することで、各教員の教科指導力の向上につなげる。	授業アンケート 定期考査の記述式設問の出題率の分析 定期考査の記述式設問の模範解答の分析	
	生徒の「主体的に学習に臨む態度」を育成する。	生徒が自らの成績や課題を客観的に感じ取れるよう、教務規定で示す基準に合った考査問題の作成を徹底する。 出欠の記録や学習時間調査の結果の分析及び職員間の共有を図るとともに、職員間の情報の共有を迅速かつ深化させる。 学年教務を中心に欠の記録を正確に行うとともに、学習時間のデータを参考に学校の授業を中心とした学習習慣の指導を実施する。	定期考査の平均点の分析 出席統計 学習時間調査	
探究推進課	生徒が自ら課題を発見し解決する過程を通して、主体的に取り組む態度を育成する。	探究の過程をきちんと記録させ、進路選択にも活用できる基盤を整える。 演習→実践という流れを重視し、データ分析を軸に調査研究活動を展開させる。 探究活動が円滑に実施、活性化されるように支援体制を整える。	生徒を対象とした 探究活動に関わる意識調査	
	探究活動で身に付けた資質・能力をもとに自分の考えを発信する力を育成する。	各種発表会を通じて学習活動の成果を発信し、外部評価を受ける。 貢献活動として科学者の卵講座を実施し、活動の成果を地域へ普及させる。 理数科、科学系部活動の研究向上のための支援体制を構築する。	生徒を対象とした成果発表会アンケート/ 科学者の卵講座参加者アンケート	
庶務課	各種行事・式典について、早めに計画・立案し、円滑な運営を行う。また、関係諸機関との連絡・調整を密に行う。	来賓への案内、会場との打ち合わせなど各種準備に早めに取りかかり、関係各方面との連携を密にする。 同窓会との連携を密にし、創立記念講演等を円滑に実施する。 保護者会との連携を密にし、保護者会行事(総会・学年別保護者会・研修会等)を円滑に実施する。	創立記念講演会時のアンケート	
	体育館、武道場の改築等を踏まえて、各種行事・式典の運営・内容について検討する。	体育館改築により式典会場に変更があることを踏まえ、関係分掌と連携しながら慎重に内容・実施方法等を検討する。 必要なものとそうでないものを区別し、不要なものは縮小もしくは廃止する。 より円滑な行事運営ができるよう、昨年度の実績や反省をもとに、内容・実施方法等を検討する。	保護者会役員へのアンケート	
情報課	教員のICT活用指導能力の向上及び生徒のICT活用能力向上を目指す。	教員向けの研修を実施することによりICT活用指導能力の向上を図る。 授業や講座でICT機器等を活用することで生徒のICT活用能力の向上を図る。 ICT支援員との連携や業務支援を有効に活用し、各々の能力の向上を図る。	ICT活用アンケート	
	機器管理やシステム管理を行い、教員、生徒がICTを活用しやすい環境を整える。	日ごろより機器の管理を徹底するとともに、使用しやすい環境作りに努める 各種システムを複数人体制で適切に管理・運用し、トラブルに迅速に対応する。 各業務でのデジタル化を図り、業務負担軽減を行う。	Wi-Fi環境調査	
広報課	学校案内等の広報物発行、HPの運用・管理などを通して、本校の魅力や教育活動を中学校や地域社会に積極的に発信する。	学校案内、楽天、別冊楽天等の内容の充実を図る。 学校ホームページにおける新着情報の活発な発信を行う。 学校紹介動画の活用、行事写真の記録・集約と活用を行う。	体験入学アンケート	
	中学生進路相談事業・体験入学について、最大限の効果を上げるとともに、生徒のプレゼンテーション能力を高める機会とする。	中学生進路相談事業の揭示物、相談形式を工夫する。 体験入学については全体会の動画を準備する。	体験入学アンケート	
生徒指導課	豊かな人間性と社会性を身に付け、主体的に行動できる生徒を育成する。	まごころの道明善で仲間と切磋琢磨し、克己尽力できる配慮の心を養う。 それぞれの立場や個性を尊重する態度を養う。 自他の生命を尊重する態度を養う。	学校生活アンケート	
	学校行事、生徒会活動、部活動を通して「克己・盡力・楽天」「文武両道」を実践する。	やりたいことに一生懸命になれる学校の雰囲気づくりに取り組む。 学校行事や部活動で様々な経験を積ませ、成長の糧とする。 生徒の充実した様子を通して保護者の信頼を獲得する。	家庭用チェックリスト	
保健課	社会貢献や配慮の精神を養い、豊かな人間性を育む。	美化週間の充実を図り、「整理・整頓・清潔・清掃(4S)」を推進する。 献血セミナーと献血を実施し、社会貢献の意識を高める。 生徒会、校友会と連携し掃除の会等のボランティア活動の充実を図る。	講演後の生徒感想文 生徒会、各委員会との振り返り	
	自己を大切にし、利他の心を育む教育活動の充実を図る。	午睡週間を充実させ、週1回の午睡Dayの定着を図り健康の保持増進に努める。 性に関する講演、薬物乱用防止講演会を計画・実施し、命の教育の充実を目指す。 SC、SSWとの連携を図り、個に応じた支援を目指す。	講演後の生徒感想文・アンケート	

様式3

進路指導課	校内模試・校内実力テストや課外授業で「確かな学力」を育成し、生徒の進路実現に繋げる。	生徒の進路実現につながる効果的な模試・実力テストの作成・実施・分析に努める。 課外授業・講座の受講率の上昇および出席率の向上を目指す。 総合型選抜・学校推薦型選抜等多様な入試形態に対する進路指導を丁寧に行う。	受験校調査(3年) 課外受講希望調査 校内模試、実力テスト等の振り返りシート	
	キャリア教育を充実させ「豊かな人間性」と「高い志」を育み、進路意識の高揚を図るとともに、自己指導能力を育成する。	大学セミナー等のキャリア教育により、進路意識や学習意欲を高める。 早期からの進路指導を通して、自ら進路を切り開く力を育み、高い志を育成する。 離間大や医学部志望者への進路指導にも取り組み、志を貫く進路指導を行う。	自分の進路、進路を実現するための目標 志望校調査(1, 2年) 進路行事の感想文 オープンキャンパス計画および報告	
図書・研修課	「他者への配慮」を重んじ「自分を認め合う」共感的な心を育む人権教育授業の充実を図る。	年間指導計画に則り、3年間を見通した教育内容の精選および見直しを行う。 学習指導案について、人権教育推進委員会、学年、図書・研修課で十分に協議する。 授業実施後のアンケート結果を分析し、次回の取り上げるテーマの精選に活用する。	人権学習授業実施後の授業アンケート	
	「豊かな人間性」と「志の高い」生徒の育成に資する読書活動を推進する。	図書委員会を中心に、朝読書(年4回)・読書会等を企画・運営する。 「図書館だより(年8回)」と「図書館報(年2回)」を発行する。 「図書館週間」を計画・実施する。	読書会実施前の「お勧めの本」アンケート	
理数科	授業や探究活動の充実を図り、科学的に探究する能力を身につけさせる。	授業において発展的な内容を積極的に扱い、知的好奇心を高める。 探究活動において試行錯誤を繰り返すことで思考力を高めるとともに主体的に課題解決に向かう姿勢を身につけさせる。 様々な研究発表会に参加し、他者との議論や研究成果の発信を通して表現力を高める。	授業アンケート	
	視野を広げ、高い志を持って進路実現を目指すことに繋がる行事を実施する。	学術研究や民間企業の専門職など幅広い分野で活躍する卒業生との対話を設定する。 現地に行くことでしか実施できない内容や生徒の実技・実習を伴う研修を企画する。 ICTを活用し、国際的に活躍する専門家と交流する。	理数科に関するアンケート (生徒および保護者対象)	
総合文科コース	コース独自の行事等を通して、豊かな人間性を持ったグローバルリーダーの資質を育む。	大学教授等による講義を通して、様々な学問分野や職業について考える機会を増やす。 校外研修等の行事を通して教養を高め、視野を広げる。 国際交流等を通して、言語活動を充実させ、多様な価値観を認め合う。	総合文科コース生徒アンケート 研修レポート、感想文	
	志を高く持ち、その高い進路目標に向けて努力する生徒を育てるような行事を実施する。	総合文科コース卒業生の講話により、自分の将来像を具体的に考えさせる。 英語による探究活動を通して課題解決能力を身につける。 研修内容と授業の学びが繋がっていることに気づかせ、学習意欲を高める。	研修レポート(感想文、お礼の手紙、課題発表)	
第1学年	基本的な生活習慣を確立させ、心身共に健全な生徒を育成する。	オリエンテーションや面談を活用し、高校生活へのスムーズな移行ができるよう支援する。 基本的な生活習慣を確立させ、遅刻・欠席を減少させる。 自主的な挨拶・清掃活動ができるようにする。	生徒自己評価 保護者アンケート	
	基本的な学習習慣を確立させ、確かな学力の礎を築く。	授業を中心とした学習スタイル(予習・授業・復習のサイクル)を確立できるようにする。 「職業観育成講座」等の進路学習をとおし、高校卒業後の進路について具体的に考えることができるようにする。 探究活動や学校行事に積極的に参加させ、自主的に課題を発見し、解決に取り組むことができるようにする。	生徒自己評価 キャリアパスポート	
第2学年	規律ある学校生活の確立をとおして、他人を思いやる「豊かな人間性」を育成する。	「出席皆勤」をめざし、学校中心の規則正しい生活を送ることができるようにする。 「挨拶・掃除」の指導をとおし、他者への配慮を重んじかつ心身ともに自立した生徒を育成する。 高校生として望ましい服装やマナー等の指導をとおし、自由と責任を重んじ他者を思いやる生徒を育成する。	生徒自己評価 キャリアパスポート 保護者アンケート(7月・12月)	
	主体的に学校行事や部活動に取り組みさせ、「志の高い」生徒を育成する。	部活動や学校行事への積極的参加を促し、未知の課題の解決に主体的に取り組もうとする生徒を育成する。 海外修学旅行(台湾)をとおして、地域や社会に貢献しようとする「志」を育成する。 大学セミナーや総合的な探究の時間を充実させ、自己の進路を明確化させる。	生徒自己評価 キャリアパスポート	
第3学年	規則正しい生活習慣のもと、学校を中心とした学習習慣を確立し、希望進路を実現させる。	基本的な生活習慣の維持や自己の体調管理を意識させ、安易な遅刻・欠席を減少させる。 学校の授業を中心とした学習を充実させ、確かな学力を育成する。 面談や模試分析等を活用して計画的な学習習慣を確立させ、希望進路の実現に見通しを持たせる。	生徒自己評価 キャリアパスポート 保護者アンケート(7月・12月)	
	最高学年としての意識づけを行い、学校行事や部活動を通して文武両道の精神や豊かな人間性、リーダーシップを養う。	ホームルーム活動や進路講演会を通して自らの第一志望を最後まで貫く姿勢を培い、それに応じた指導を行う。 学年集会等を効果的に活用し、文武両道、他者への配慮の精神を培う。 学校行事等で、最高学年としてのリーダーシップを意識した行動をさせる。	生徒自己評価 キャリアパスポート	
学校事務	経営参加型の事務室業務を推進する。	生徒・保護者のニーズに応えるため、より効果的な予算の編成・執行を行う。 各分掌と情報の共有化を図り、学校経営目標が実現するための事務処理を行う。 生徒・保護者に対して、より分かりやすい内容で的確に情報発信する。		